

銀漢亭日録



伊藤伊那男

7月17日(月)▼九時、四条烏丸交差点の長刀鉾の出発を見る。マクドナルドのハンバーガーの朝食。何年振りか。四条通を河原町へ進み、迂回などを見る。「インバルス」という店で一休み。私は珈琲。他の仲間はいール。店の前にて放下鉾、船鉾を送り、巡行は終了。十二時半、「酒蔵玉乃光」に入り、この旅の打上げ。最後、卵かけごはんを食べてしまう。十六時過ぎの新幹線で爆睡。

18日(火)▼高野清風さんより伊藤庄平さん、春の叙勲で瑞宝重光章を受賞していたと。店、岡本同世さん、「復興いわき 海の俳句全国大会」の報告を聞く。山田真砂年さん、体調崩している様子。

19日(水)▼「三水会」五人。伊那北一年後輩の中田女医、三島さん(私の実家の隣組)も来て合流。あと井蛙さん他と「ふくの鳥」に寄る。

20日(木)▼店、三田俳句丘の会(慶応)あと行方克己、池田のりを、柰原洋征、坪井研治さん。「銀漢句会」あと十八人。

21日(金)▼「葛句会」選句。あと九人。あと閑散。

22日(土)▼午後、御徒町吉池にて仕入。十四時、日本橋「鯨の与志喜」にて「纏句会」。十二人。あと焼茄子、鰻の卵とじ。題に出た皮剥のフライ。握り鮓、最後に皮剥の肝付き握り。酒は「吉野川」。お開きあと、久々、渋谷「鳥竹」。飲みながらエッセイ一本。成城学園前に下りて、必要な買物あるかと桃子に電話すると、植松家他と焼肉屋にいるからおいでというので合流し、本格的に飲み直し。子ども入れて十三人。交通事故で一ヶ月間入院していた植松君復帰。元氣！

で、展枝、まゆみ、美紗、中野智子、天野小石、うさぎさん合流。山荘の庭にテントを設けて大パーティー。小雨の中。あと五句出し句会。八時五分、軽井沢から新幹線。車中も酒盛り。

31日(月)▼「銀漢九月号」添削教室書き、秋葉男さんへFAX。店、学生時代の先輩で元野村證券副社長のTさん夫妻。私のエッセイ集の出版祝としてバカラのグラス二客持参して下さる。根室の母上が末期癌で、東京に引き取り、四月に亡くなったが、付けていた読書ノートの最後の本が、私のエッセイ集であったと。著者名に伊那男の名前に添えて私の本の名が記してあると。店は祇園祭吟行メンバーの反省会で十一名集合。祭の余韻を楽しむ。結局祇園祭絡みでは句会五回、計十八句出したことになる。帰宅してバカラのグラスでコニヤック。

8月1日(火)▼閑散。「宙句会」あと六人。水内慶太さん。

2日(水)▼閑散。パリの伊藤恵子さんと友人。「きさらぎ句会」あと七人。久々、二十三時に位に帰宅すると、GRAMMAのアキ子さんと子息のシオン君来ていて、久闊を叙す。

3日(木)▼朝、「あ・ん・ど・うクリニック」。彗星集選評書き九月号の原稿終了。店、「十六夜句会」あと十五人。対島康子さん久々。

4日(金)▼桃子と孫三人沖縄へ。台風で欠航の可能性ありとて、明日の出発を早めて今朝出発。店、サンフランシスコの青柳飛、ニューヨークの中川手鞠さんと「天為」の方々。「大倉句会五周年記念誌」完成。句会あとその祝賀会。料理、酒持ち寄り三十名。堀下翔さん。

5日(土)▼十時、運営委員会。昼、「いもや」の海老天。「銀漢本部句会」五十五人。あと「はなの舞」にて暑気払いの会。

6日(日)▼「春耕同人句会」。中野サンブラザ。棚山主宰復帰。

23日(日)▼久し振りに一日家に居る日。午後、杏子一家来宅。遅い私の誕生祝いと杏子の退院祝い。巾着茄子の焼茄子、南瓜煮、海鞘と胡瓜、その他私の料理。鰯しゃぶなど。

24日(月)▼「銀漢一八句会」二階発行所で。あと六人店。藤森莊吉さんの「聞句会」十一人。「演劇人句会」あと九人など。久々繁忙。

25日(火)▼「萩句会」選句。そのあと十五名、納涼会で店へ。

26日(水)▼武田編集長より「銀漢八月号」發送完了と。「雛句会」十一人。毎日新聞の森さん『銀漢亭こぼれ噺』面白かったと。近々、記事書いてくださるとのこと。羽衣衣さん、俳人協会の若手句会で知り合った近藤さん(春燈)と。中島八起氏(春耕)句集、無事近々刷り上がると。環さん。

28日(金)▼発行所「門」同人会へ貸し出し。「金星句会」あと五人。閑散。

29日(土)▼九時五十六分発のあさま号にて佐久平経由で小諸へ。「こもろ・日盛俳句祭」のスタッフ。銀漢からは、谷岡、井蛙、麦さん。昼「筑蕎麦 刻」のあい盛の大盛。満足。句会、二十人の教室。窪田英治さんとスタッフ。顔合わせパーティーあと、町の「花むら」。奈良の「南柯」グループ、真砂年さん一派、行方克己、土肥あき子さんなど。終ってホテル。和音さんの部屋にて持参のシャンパン、ワイン戴く。和音さんとは隠岐以来の知己。

30日(日)▼六時起床。昨日の当日募集句、六十数名分の選。温泉。朝食。部屋にて「銀漢九月号」の選句。十一時半、北国街道を歩き虚子庵。「筑蕎麦 刻」にて蕎麦。十三時半より句会。真砂年、あき子さんと三人スタッフ。

十五時半、迎えの車に井蛙、麦と乗車。「北軽井沢句会」の柴山つぐ子山荘へ。例によって横断幕で大歓迎してくださる。日帰り

あと「炙谷」にて親睦会。

7日(月)▼昨日、早く寝たので四時起床。武田花果さん句集の序文(跋文にするか)書き上げる。店、青柳飛さん(米国俳人協会会長)が前会長David G. Lahove氏と。岩手県俳人協会事務局長二階堂光江さん。勉強会あとの「かさ、ぎ俳句勉強会」メンバー十一人。「銀化」梅田津さん他三人勉強会。

8日(火)▼店「火の会」十人。台風五号迷走で閑散。

9日(水)▼「梶の葉句会」選句。店、明日から一週間休みにて、常連が寄って下さる。水内慶太氏四人。三輪初子さん。二十二時、店を閉めて八人程で「天鴈餃子」でしばしの別れの宴。

10日(木)▼十一時半発のANAにて沖縄へ。ほとんど眠って。旭橋のホテルユクエスタ。今日は一人。早速、半ズボンで牧志公設市場二階「きらく」でオリオンビール、鳥らっきよ。その後も近隣を散策しつつ、三軒ほど飲み歩くがどうも満足のゆくものなし。一人で大きな店に入りたくないし、一人で肉は食べる気がしないし……。久米島の車海老の看板の店に入ると、季節が終わったとて生は無し。何とも、トホホ。

11日(金)▼五時過起。「高遠句会」の平澤俊子さん逝去の報を受ける。田中敬子さん句集の序文の構想。ホテルで朝食。小さいが気持ちのよいホテル。天気よし。昼、家族迎えに来てくれて泊港。ターミナル二階の食堂で色々な定食取って昼食。泡盛。十四時の船にて二十分程の距離、ナガンヌ島へ。津波が来たら瞬時に終わりそうな無人島で、簡素なバンガローあり。家族が海に入っている間、昼寝。入日を見てバーベキューの夕食。泡盛。バンガローに戻って酒盛り。周囲はおびただしいヤドカリ。鰯刺が鳴く。